

識字・日本語学習についてのアンケート調査

教室名	
-----	--

問1 教室で実施している学習は何ですか。(○は1つだけ)

1. 識字学習	2. 日本語学習	3. どちらも実施
---------	----------	-----------

問2 教室の運営主体は何ですか。(○は1つだけ)

1. 自治体	2. NPO	3. 任意団体	4. 財団法人	5. ボランティア
--------	--------	---------	---------	-----------

問3 教室の開催曜日と開催している時間帯それぞれに○をつけてください。(○はいくつでも)

①開催曜日	1. 平日(月～金)	②時間帯	1. 午前中	4. 18時以降
	2. 土日		2. 13時～15時	5. 決まっていない
	3. 不定期開催		3. 15時～18時	

問4 教室の学習内容を教えてください。(○はいくつでも)

1. 日常会話	2. 読み書き(かな・漢字)	3. 読み書き(文章・作文)
4. 文法	5. 日本語能力試験対策	6. 生活に必要な日本語
7. 仕事や就職に必要な日本語	8. 参加者の交流	
9. 日本の文化	10. その他()	

問5 教室での学習形態を教えてください。(○はいくつでも)

1. マンツーマン(対面)	2. 少人数のグループレッスン(対面)
3. 講義形式(対面)	4. マンツーマン(オンライン)
5. 少人数のグループレッスン(オンライン)	6. 講義形式(オンライン)

問6 過去3年程度において、教室で識字・日本語学習以外で実施した活動があれば教えてください。

(○はいくつでも)

1. 地域住民との交流(イベントなどの開催)	2. 教室参加者どうしの交流会
3. 生活等に関する相談対応	4. 学習支援者(ボランティア)の研修
5. 教室の運営委員会など	6. 人権学習(同和問題・多文化共生など)
7. 日本文化を紹介するための活動(節分や七夕などのイベントなど)	
8. 学習者の国・地域の文化を紹介する活動(衣装や料理、風習、言葉など)	
9. その他()	
10. 特になし	

問7 教室の受講費用について教えてください。(○は1つだけ)

1. 無料	2. 有料
-------	-------

問8 現在、教室に在籍している学習者について、国籍別の人数を教えてください。

(2021年10月1日時点)

国籍	人数	国籍	人数	国籍	人数
日本	人	ネパール	人	インド	人
韓国及び朝鮮	人	アメリカ	人	その他	人
中国	人	インドネシア	人	不明	人
ベトナム	人	タイ	人	合計(不明含む)	人
フィリピン	人	ブラジル	人		

問9 現在、教室に在籍している学習者について、分かる範囲で年齢別の人数を教えてください。

(2021年10月1日時点)

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
16歳未満	人	30代	人	60代以上	人
16～19歳	人	40代	人	不明	人
20代	人	50代	人		

問10 現在、教室に在籍している学習者の在留資格等について分かる範囲で教えてください。

(2021年10月1日時点)

在留資格等	人数	在留資格等	人数	在留資格等	人数
日本人	人	日本人の配偶者等	人	特定活動	人
特別永住者	人	家族滞在	人	永住者の配偶者等	人
留学	人	技術・人文知識・国際業務	人	その他	人
技能実習	人	特定技能	人	不明	人
定住者	人	技能	人		

問11 ここ5年程度において、教室に参加する学習者において変化はありますか(コロナ禍による影響除く)。(○はいくつでも)

1. 識字学習者の数が増えた	2. 識字学習者の数が減った
3. 日本語学習者の数が増えた	4. 日本語学習者の数が減った
5. 特定の国籍の方が増えた ⇒ 具体的な国籍()	
6. 特定の在留資格の方が増えた ⇒ 具体的な在留資格()	
7. その他()	8. 特になし

問12 教室に通う学習者より以下のような要望が出されることはありますか。(○はいくつでも)

1. 難しいレベルの学習内容にしてほしい	2. 易しいレベルの学習内容にしてほしい
3. 学習内容を変えてほしい(増やしてほしい) ⇒ 具体的内容()	
4. オンラインでの学習を行ってほしい	5. 教室の開催回数を増やしてほしい
6. 1回あたりの教室の実施時間を長くしてほしい	
7. 教室を開催する時間帯を変更してほしい ⇒ 具体的内容()	
8. 学習の間、子どもを見守ってくれる場所がほしい	
9. その他の要望 ⇒ 具体的内容()	
10. 特になし	

問13 学習支援者（ボランティア）の登録人数および、実際の活動人数を教えてください。（2021年

10月1日時点）

※登録人数と活動人数が同じ場合は、両方に同じ人数を記載ください。登録制を取られていない場合は、活動人数のみ記載ください。

登録人数	人	実際の活動人数	人
------	---	---------	---

問14 教室では、下記のような学習支援者（ボランティア）は在籍していますか。

1. 日本語教師有資格者※ ¹	① いる（ 人 ）	② いない
2. 外国語を話せるスタッフ	① いる（ 人 ）	② いない
3. 学習者から学習支援者（ボランティア）になった方	① いる（ 人 ）	② いない

※1：次の3つの条件のうち1つ以上を満たす者
（日本語教育能力試験合格者／420 時間養成講座修了者／大学で日本語教育を専攻もしくは副専攻で修めた者）

問15 学習者、および学習支援者（ボランティア）の募集方法について、それぞれ教えてください。

各回答欄にあてはまるものすべての番号を下の欄にご記入ください。

①学習者	②学習支援者（ボランティア）
------	----------------

選択肢

1. 自治体の広報やホームページ
2. 教室のホームページやブログ、Facebook等インターネット媒体
3. 役所や学校、図書館などの教室周辺施設等へのチラシの設置
4. スーパーやお店にチラシを設置
5. インターネット上の掲示板等に情報提供
6. 他の教室参加者からの紹介や口コミ
7. その他（ ）

問16 教室を運営するにあたって、困っていることはありますか。（○は3つまで）

1. 学習支援者（ボランティア）が不足している	2. 支援者のスキルアップ
3. 学習者が長続きしない	4. 学習者が増えない
5. 日本語学習者のレベルの差が大きい	
6. 日本語がほとんど話せない学習者の対応が難しい	
7. 学習者のニーズにあう指導を行うのが難しい	
8. 学習者のレベルがばらばらのため、指導が難しい	
9. 運営費用が確保できない	10. 教室の場所の確保が難しい
11. 学習者や学習支援者（ボランティア）の効果的な募集方法がわからない	
12. 学習者の増加により、教室のキャパシティが追い付かない	
13. 運営に関する事務を行う人手が足りない	
14. その他（ ）	
15. 特にない	

問17 問16でお答えいただいた困りごとに対して、教室として取り組まれていることや工夫されていることがあれば教えてください。

問18 教室において、コロナ禍で困っていること、工夫していることがあれば、お教えてください。

問19 学習支援者（ボランティア）のスキルアップに向け、必要なことは何だと思えますか。（○はいくつでも）

1. 学習支援者（ボランティア）研修用の教材・マニュアルの作成	
2. 既存の学習支援者（ボランティア）を対象とした研修の充実	
3. 新規の学習支援者（ボランティア）の養成講座の実施	
4. 他の識字・日本語教室との交流・情報交換	
5. 日本語学校や大学等からの支援・協力	6. 行政との日常的な情報交換の機会の実施
7. 日本語教師資格取得のための支援	8. その他（ ）

問20 教室の運営費をどのように調達していますか。（○はいくつでも）

1. 行政や主催団体等が負担	2. 運営者・スタッフ等が運営費を負担	
3. 助成金	4. 学習者からの受講料	5. ボランティア会員の登録費
6. 企業などからの寄付	7. その他（ ）	

問21 他の識字・日本語教室や団体（NPO、日本語学校、企業、地域活動など）との連携や交流を行っていますか。（○は1つだけ）

1. 行っている ⇒具体的内容（ ）
2. 行っていない

問22 今後、識字・日本語教育の充実に向けて、行政はどのような環境整備を行うべきだと思いますか。（○は3つまで）

1. 識字・日本語教室等の新規開設
2. 教室の運営や教室活動の充実に向けた支援（マニュアルの作成、ノウハウの共有など）
3. 教室参加者に対する学習方法などについての研修等の充実
4. 教室参加者に対する人権問題についての研修等の充実
5. 識字・日本語教室への経済的な支援
6. 学習支援者（ボランティア）の養成や研修の充実
7. 日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実
8. 識字・日本語学習に関する指導教材等の配布
9. 識字・日本語教室における日本語学習プログラムの開発
10. 日本語指導の資格を持った日本語教師による入門レベルの日本語学習機会の充実
11. 識字・日本語教室の広報・PR
12. 他の識字・日本語教室の活動内容の紹介・情報提供
13. 他団体（NPO、日本語学校、企業、地域活動など）との連携の橋渡し（コーディネート）
14. 教室運営や学習方法等に関する相談体制の充実
15. 日本語学校や識字・日本語教室、NPO等日本語教育に関わる団体のネットワークの構築や協議会の設置
16. 外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築
17. その他（ ）
18. 特にない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

日本語学習についてのアンケート調査

貴日本語学校名

貴校に在籍する学生についておたずねします

【現在、在籍している学生の状況についておたずねします】

問1 学生の人数を教えてください。(令和3年10月1日現在)

人

問2 学生数が多い①国籍、および②在留資格の上位5位までの人数を教えてください。(令和3年10月1日現在)

①国籍

	国籍	人数
1		人
2		人
3		人
4		人
5		人

②在留資格

	在留資格	人数
1		人
2		人
3		人
4		人
5		人

問3 年齢別の学生の人数を教えてください。(令和3年10月1日現在)

	年齢	人数
1	18～19歳	人
2	20代	人
3	30代	人
4	40代	人
5	50代	人
6	60代以上	人

問4 ここ5年程度で、学生の国籍、進路等に変化はありますか。(〇はいくつでも)

- 特定の国籍の方が増えた ⇒ 具体的な国籍 ()
- 特定の国籍の方が減った ⇒ 具体的な国籍 ()
- 卒業後に特定技能での就職を目指す人が増えた
- 卒業後に専門学校・大学等への進学を目指す人が増えた
- 卒業後に専門学校・大学等への進学を目指す人が減った
- 特に変化はない
- その他 ()

問5 学習者の募集方法を教えてください。(〇はいくつでも)

- 学校のホームページやブログ、Facebookなどのインターネット媒体
- テレビやラジオ、新聞・雑誌広告などのメディアを利用
- 外国人が見ると思われるホームページに情報を提供
- チラシ配布(主な配布場所:)
- 学習者からの紹介や口コミ
- 日本留学フェアなどのイベント
- 提携している機関・団体からの紹介(海外を含む)
- その他 ()

問6 日本語学習や交流などについて、学生にとってニーズがあるものを教えてください。(〇はいくつでも)

- 日本人との交流による日本語学習
- 日本語・外国語スキルを生かしたボランティア
- 企業へのインターン
- 日本語学校卒業後の日本語学習の場
- 日本文化に触れる機会
- 日本語能力試験などの受検対策
- 就労につながる日本語学習
- 地域で生活する上で必要な情報提供や体験の機会
- その他 ()

問7 日本語学校卒業後の日本語学習の場として、どのようなものがあればよいと思いますか。

--

貴校の教育体制についておたずねします

問8 教員、スタッフの人数をお聞かせください。(令和3年10月1日現在)

	正規職員	非正規職員
日本語教師	人	人
事務職員	人	人

問9 日本語教師のスキルアップのために実施していることがあればお聞かせください。(〇はいくつでも)

- 校内での研修
- セミナー・研究会への参加
- 資格取得の支援
- 海外への派遣
- その他 ()

問10 日本語学校の運営にあたって困っていることは何ですか。上位3位をお答えください。(〇は3つまで)

- 学習者の日本語レベルの多様化
- 学習ニーズの変化への対応
- 入学希望者の減少
- 教員不足
- 教員の資質向上
- 卒業後の進路開拓
- 卒業後の学習フォロー
- 日本語学習以外の生活面でのサポート
- 経営状況が厳しい
- その他 ()
- 特にない

